

(主題名) 生まれてきた大切な生命

(ねらい) 登場人物の考え方や生き方を通して、自分が周囲に生かされていることや相互に支え合っていることに気づき、生命の尊さを理解しようとする心情を育てる。

(教材名) あふれる愛 (出展:「明日を生きる」日本文教出版)

過程	学習活動	指導上の留意点	機器等の活用場面
導入 5分	1. 命に関するアンケートに回答する。(Google フォームから入力) 2. アンケートの結果を知り、命に関する周囲の考えを知る。	・命に関するアンケートに回答させる。自身の経験で答えるように促す。	Google フォーム アンケートへの回答と結果の共有。
めあて 生命を尊重するとはどういうことだろうか			
展開前段 20分	3. 教材を読み、登場人物の生命に対する考え方の違いを考える。	・マザー・テレサと院長の考え方の違いを考えながら聞くよう指示する。 ・人命を救うことに対する自分の考えをワークシートに書かせる。 ・班で意見を交換させ、様々な意見に触れさせる。 ・マザー・テレサが誰の命も唯一無二の存在であるということから、より貧しい人達を助けるために、人生を捧げていることを(より深く)考えさせる。 ・マザー・テレサは、なぜ余命わずかな人達を助け続けることができたのかについて、マザー・テレサと余命僅かな人々の思いから考えさせる発問する。	
展開後段 20分	4. マザー・テレサや余命わずかな人々の生命を支えているものについて考える。 5. 自分の生命を支えているものや自分が周囲の支えとなっているものについて、授業を通して学んだことを振り返る。	・余命わずかな人達は支えられるだけでなく、感謝の念を通して、マザー・テレサの生きる支えとなっていたことに気付かせる。 ・マザー・テレサ自身の生きる支えとなったことは何だったのかについて考えさせる発問をする。 ・自分の普段の生活やこれまでの経験を振り返り考えさせる。	
終末 5分	6. 命を大切にすることとはどういうことか、授業を通して感じたことを振り返る。	・命を大切にすることとはどういうことかについて、授業の導入時における考えと、級友との意見交換等を通じた後の考えの変容について触れさせながら、ワークシートに記入させる。	